

「初心忘るべからず」の言葉を胸に

一つ一つの課題を着実に、折り返し地点に気を引き締め。

2015年4月に石川県議会議員となってから、早いもので2年という月日が経とうとしており、予算委員会での初質問が昔のこのように感じるほどです。この2年間、「商業・観光」「防災対策」「自然・環境」「福祉・子育て」など、さまざまな課題について真摯に取り組み、微力ながらも石川県政の伸展に貢献してまいりました。物事は一朝一夕に成し遂げることはできません。これからも地域全体を大局的な視点で捉え、目の前の課題を一つ一つクリアしていくことで、しっかりと歩みを進めます。4年間の任期の折り返し地点にさしかかるに当たり、「地域の皆さまのために尽くす」と誓った初心に立ち返って、これからの2年間も議員活動にまい進していく所存です。



★★ 4つの重点施策 ～地域に尽くす政治～ ★★

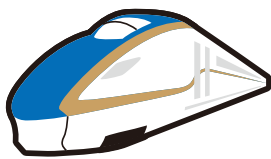
地域防災対策について

白山市には石川県の守り神ともいえる霊峰白山があります。しかしながら、昨今の自然災害における対応のあり方が問われていることを踏まえ、噴火予知観測の徹底や避難場所の整備など、登山者や地域住民の方の防災対策を推進します。また、生活道路の整備などの交通環境も整えていきます。



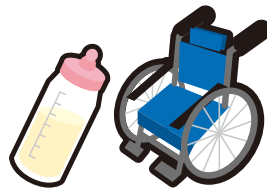
白山ブランドの発信

新幹線の効果を白山市内全域に波及するための二次交通の整備や交流人口を増やすため、地域文化の特色を生かしたイベントやお祭りへの取り組みを支援します。魅力ある商店街をつくるため、それぞれの商店街の実情に即した効果的な活性化対策を官民一体となりサポートします。



子育て支援策・福祉体制の充実

小児科医の不足の解消や小児救急医療体制の拡充に取り組むほか、障がいのあるひとをはじめとした県民一人ひとりに応じたきめ細かい施策の充実を図ります。また、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためにコミュニティの互助の力や行政・医療機関・施設等の環境整備を充実します。



地域の発展を支える産業として

農業を支える多様な担い手の育成により耕作放棄地の解消を図り、農村環境基盤の整備保全を行います。また、森林の公益的機能（地球温暖化の防止、自然環境の保全、水源のかん養、土砂の崩壊防止等）を十分に発揮させるために必要な施策を推進します。さらに、水産資源を育成するため河川等の整備を推し進めます。



2017年4月3日より「横山隆也事務所」が開設されます

発行所

横山隆也事務所

〒920-2373 石川県白山市河合町甲21番地

TEL.076-254-2820 FAX.076-254-2821
AM10:00～PM4:00(土日祝はお休みです)

公式ホームページ <http://www.yokoyamatakaya.com/>



【縦横無尽】
じゅうおう・むじん

何事にもとらわれず、あらゆる方面で
物事を思う存分にすること。また、そのさま。



縦

横

無

尽



皆さまの幸せを
実現するために、
地域の活性化に
全力で取り組みます。

石川県議会議員 横山隆也 活動報告 vol.2

横山隆也通信

よこやま たかや

石川県政の発展に尽くす。



平成28年9月 定例会一般質問

ごあいさつ

謹啓

早春の候、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は議員活動に対し、格別のご理解とご協力を頂いておりますこと心から厚く御礼申し上げます。
北陸新幹線が開業し、早や2年の月日が経過いたしました。心配していた首都圏へのストロー現象は見られず、ほっと胸をなで下ろしているところです。

しかしながら、石川県の人口は減少しているのが現状です。私は人口減少対策の一つが企業誘致だと考えており、県の積極的な誘致活動によって、企業の本社移転や支店・営業所の開設が実現しているのは心強い限りです。また、地元の白山市では、子育てや移住定住の支援策が充実したことにより、昨年に比べて人口がわずかながらも増加に転じています。

さて、白山麓地区に目を向ければ、旧かんぼの郷白山尾口の跡地で、金沢高専1・2年生が学ぶ新校舎と学生寮などが設けられる「白山キャンパス」の建設工事が、平成30年春の開設に向けて進んでいます。白山市議時代から関わってきた人としては、キャンパスが実現することに感慨深いものがあります。

今年は、奈良時代の僧・泰澄が白山を開いて1300年の節目の年です。これを機に、地元の私たちも白山開山によって培われた歴史や文化を再認識してみてもどうでしょうか。そして、全国から二人でも多くの観光客が白山市を訪れ、素晴らしいさを感じてもらえればと願っております。

末筆となりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますと共に今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年三月吉日

横山隆也 謹白

平成27年9月議会にて

移住対策について

質問

ワンストップの相談窓口開設で Uターン希望者をサポート

人口の自然減が避けられない現状では、県内への移住者を増やすことも選択肢の一つだ。今後、首都圏におけるワンストップ相談窓口の設置場所は決まっているのか。決まっていなければ、Uターンなどを支援するNPO法人ふるさと回帰支援センター内に、ブースを開設することを検討してはどうか。

答弁

NPO法人ふるさと回帰支援センターとの連携を強め、本県への移住につなげていきたい。ワンストップ相談窓口については、いしかわ就職・移住総合サポートセンターに必要な機能を検討しながら、ふさわしい場所を検討する。

私の意見

議会で質問した当時は、移住相談の対応は十分ではありませんでした。しかし、東京・有楽町のNPOふるさと回帰支援センターに相談員を配置するなど、石川へ移住を考える人たちに暮らしやすさを発信する体制は整いつつあります。



鳥獣被害対策について

防護柵の設置が効果的 捕獲体制のさらなる充実を

平成26年の被害額は1億4000万円で、5年前の約1.7倍となっており、イノシシによる農作物被害の急増が主な要因だ。今年度は被害防止に向け、防護柵の設置を2倍としたほか、捕獲効率を高めるためにICTを活用した実証実験を行っている。



県の交通安全対策について

ドライブレコーダーの設置 昨年度公用車5台で試用

車両の更新時期に合わせて平成26年度、試行的に5台に設置した。効果や全国的な導入状況を見極めながら、設置台数を拡大する対応したい。

ドローンの規制と活用について

小型無人機「ドローン」利用 安全確保に向けた取り組み強化

都市公園条例の「迷惑行為の禁止」により、一定の規制は行っている。他県の実情を踏まえながら対応を検討したい。



平成28年3月議会にて

文化財の修復について

文化財保存に 積極的な支援を 修復工房の利用で 所有者負担を軽減

指定文化財の修復には所有者の負担が必要であり、修復が進まない一因となっている。そこで、平成28年度から「いしかわ県民文化振興基金」を活用し、県内の指定文化財を修復工房で修復する際に、所有者負担を軽減する新たな助成制度を設けた。



優遇税制について

企業の本社機能の地方移転で 県内19市町全てが固定資産税減免

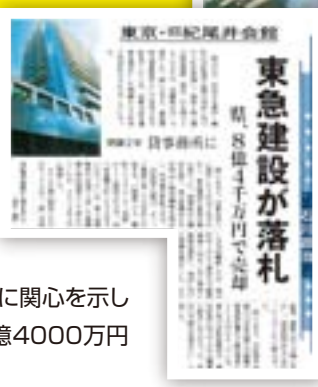
企業の本社機能の地方移転に対する税制優遇措置である「地方拠点強化税制」においては、市町を対象とした説明会を開催するとともに、県と足並みをそろえて固定資産税の優遇措置を設けるよう働きかけてきた。間もなく19市町で優遇措置が設置されることから、県と市町が一体となって誘致に取り組みたい。



旧紀尾井会館について

平成26年から赤字運営で 閉鎖の会館を迅速に売却

赤字運営を理由に平成26年3月に閉鎖した東京・麹町の旧紀尾井会館の売却については、民間の不動産仲業者に業務を委託することで、複数の法人が現地を確認し、入札に関心を示していた。最終的には東証1部上場の東急建設(東京)が約8億4000万円で落札し、懸案だった同会館が売却されることになった。



小松白川連絡道路について

道路開通の実現に向け 国への働きかけを一層強化

本道路の県境部においては、全国でも有数の長大トンネル建設が想定され、高度な技術を要することから、事業化には国直轄事業が前提である。石川・岐阜の両県が連携して粘り強く国に働きかけ、期成同盟会と力を合わせ実現に向けて取り組んでいきたい。

北朝鮮による拉致問題について

北朝鮮の 拉致可能性不明者 捜査・調査に全力を

平成28年2月26日付で、新たに1人が加わった北朝鮮の拉致の可能性を排除できない石川県関係の行方不明者について、今後とも家族の気持ちを十分に受け止め、全容解明に向けて関係機関と連携し、捜査、調査に全力を挙げていきたい。



平成28年9月議会にて

松林の再生について

質問

「根上方式」で松林を再生 県のさらなる協力を要望

白山市では、松枯れが目立つ白山海岸で松林の保全・再生に取り組んでいる。その際、松枯れの先進地である能美市の「根上方式」を採用した。植栽にあたっては、枯れた松の根を取り除いて整地する必要があり、相応の費用がかかる。この点について、県としてはどのような対応を考えているのか。

答弁

白山市の松任浜公園と手取公園の松林の再生については、地元の方々の協力を得ながら苗木の植栽を行っているところである。枯れた松の根を取り除いて整地する場合は、県がその作業を実施したいと考えている。

私の意見

公園管理は土木部、海岸林の植栽は農林水産部が担当しており、縦割り行政の弊害があったことは確かです。しかし、地域の住民の方々にとっては関係ない話であり、昔ながらの松林を再生してほしいという願いの実現に尽力します。



土砂災害対策等について

要配慮者利用施設のある警戒区域 土石流対策を平成31年度完了へ

要配慮者利用施設がある土砂災害警戒区域については99カ所を重点箇所と位置づけ、平成27年度末までに49カ所の土砂災害対策を終えている。残る50カ所は、基大な被害をもたらすおそれがある15カ所を優先的に整備しており、平成31年度末までの工事の完了を目指す。



地震に備えた県有施設の整備について

県央土木総合事務所を除く 県施設99%が耐震化終える

庁舎や学校などの県有施設で、防災拠点となる施設は525棟ある。このうち県央土木総合事務所を除く全施設で耐震化が完了した。また、避難所となる54施設のバリアフリー化は、全施設の入り口にスロープを取り付け、49施設に多目的トイレを設けた。



ポケモンGOなどの対応について

人気ゲームアプリが普及 歩きスマホの禁止促す

ポケモンGOに関する交通違反は20件あり、軽傷事故も1件起きている。また、金沢城公園や兼六園では歩きスマホをしている人に注意を呼び掛けた。さらに全公立学校の生徒指導担当教員を対象にした講習会で、歩きスマホの禁止を徹底するよう注意喚起した。





防災
災害から

[illegible]

「このように、東電の正副社長は、福島第一原発の事故発生後、現場に何度も足を運んで、関係者の話を聞き、状況を確認している。また、関係者の話を聞き、状況を確認している。」

白山市は、背後に雄大な霊峰白山を望む自然に恵まれた地域であり、その美しさには心を奪われるほどです。一方、時に自然は人間にとって脅威となります。土砂災害もその一つであり、対策には万全を期す必要があります。石川県議会砂防事業促進研究会では、実際の被害状況を視察し、災害を未然に防ぐことの大切さを再認識しています。